

3)セックス相手の数（異性）

セックス経験のある回答者に、「今までに、何人の異性とセックス（性交渉）したか？」と尋ねると、一番多かったのが「5～9人」で26.0%、「1人」17.8%、「2人」13.8%。100人以上も0.9%いた。「5～9人」が多いのは30代で31.9%、40代27.3%、20代23.6%。10代は15.9%だが、50代、60代を勝っていた。「1人」についても、10代、50代、60代が多く、それ以外の年代では10%台にとどまっていた。

今までに、何人の異性とセックス(性交渉)したか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	1人	2人	3人	4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上	不明
女性	2,692	17.8	13.8	11.7	12.9	26.0	10.6	4.2	1.1	0.9	1.3
10代	88	27.3	18.2	11.4	11.4	15.9	8.0	6.8	1.1	0.0	0.0
20代	995	17.1	14.5	10.2	12.2	23.6	13.0	5.5	1.7	1.4	0.9
30代	874	12.5	12.0	10.2	12.9	31.9	13.6	4.2	0.9	0.7	1.0
40代	494	17.6	13.2	15.2	15.2	27.3	5.3	3.0	0.6	0.6	2.0
50代	187	36.9	17.6	17.1	9.6	14.4	2.1	0.5	0.0	0.0	1.6
60代	46	41.3	17.4	17.4	2.2	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
年齢不詳	8	25.0	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
男性	94	4.3	5.3	4.3	10.6	24.5	20.2	13.8	11.7	4.3	1.1
性別不明	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

4)決まった交際相手以外に、セックスする異性がいるか？

「決まった交際相手(配偶者を含む)以外に、セックス(性交渉)する異性がいるか？」の質問には、「そのような人はいない」が85.5%で、「いる」は12.7%であった。「そのような人はいない」は全年齢で85%ほどであった。

決まった交際相手(配偶者を含む)以外に、セックス(性交渉)する異性がいるか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上	そのような人はいない	不明
女性	2,692	9.5	1.6	0.9	0.2	0.1	0.4	85.5	1.6
10代	88	11.4	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	84.1	0.0
20代	995	10.1	2.4	1.2	0.5	0.2	0.8	83.5	1.3
30代	874	7.7	1.1	1.0	0.1	0.1	0.2	88.1	1.6
40代	494	10.9	1.0	0.4	0.0	0.0	0.4	85.4	1.8
50代	187	11.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	85.6	2.1
60代	46	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.8	8.7
年齢不詳	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
男性	94	17.0	3.2	5.3	0.0	2.1	1.1	68.1	3.2
性別不明	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7

5)この1ヶ月間の異性とのセックス回数

「この1ヶ月間の異性とのセックス(性交渉)の回数」を尋ねると、いわゆるセックスレス(特別な事情がないにもかかわらずカップルの合意したセックスが一ヶ月以上ない)が、38.3%。この割合は年齢が上がるにつれて上昇し、40

代49.2%、50代62.6%、60代73.9%であった。年齢が若い女性での回数が多い。

この1ヶ月間の、異性とのセックス(性交渉)の回数は？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	1回	2回	3回	4回	5～9回	10～19回	20～49回	50回以上	この1ヶ月間はセックスしなかった	不明
女性	2,692	11.8	13.0	9.0	9.5	11.3	4.2	1.2	0.1	38.3	1.7
10代	88	11.4	19.3	5.7	12.5	22.7	5.7	5.7	0.0	17.0	0.0
20代	995	9.7	12.2	11.6	12.5	17.8	7.5	2.0	0.2	25.1	1.4
30代	874	12.9	12.9	9.3	8.6	8.7	3.1	0.7	0.1	42.1	1.6
40代	494	13.6	15.8	6.5	6.9	5.7	1.0	0.0	0.0	49.2	1.4
50代	187	16.0	9.1	3.7	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	62.6	2.7
60代	46	2.2	6.5	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	73.9	13.0
年齢不詳	8	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
男性	94	20.2	9.6	5.3	13.8	8.5	2.1	0.0	0.0	38.3	2.1
性別不明	6	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

6)現在もっともよく使っている避妊法

「現在、もっともよく使っている避妊法」は、「避妊する必要がない」18.4%を含めて、「コンドーム」がもっとも多く46.2%、次いで「低用量経口避妊薬(ピルを・飲む避妊薬)」18.3%、「陰外射精(精液を外に出すこと)」12.7%であった。コンドームもピルも若年齢層ほど使用率が高いのは、協力医療機関が性感染症予防や低用量経口避妊薬の処方に関心であることが影響したと思われる。

現在、もっともよく使っている避妊法は？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	コンドーム	経口避妊薬(ピル:飲む避妊薬)	オネノ式避妊法(基礎体温を測る)	基礎体温をはかる	陰外射精(精液を外に出すこと)	洗浄法	この避妊法に必要はない	不明
女性	2,692	46.2	18.3	0.6	12.7	0.1	0.7	18.4	2.5
10代	88	60.2	22.7	0.0	0.0	14.8	0.0	1.1	0.0
20代	995	50.9	26.3	0.4	0.4	10.9	0.0	0.0	9.6
30代	874	46.2	15.7	0.6	0.7	13.6	0.0	0.7	20.6
40代	494	42.7	13.6	1.4	0.8	17.2	0.2	1.8	20.0
50代	187	31.0	3.2	0.0	0.5	8.6	0.5	1.1	47.6
60代	46	13.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	67.4
年齢不詳	8	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5
男性	94	70.2	1.1	1.1	0.0	12.8	0.0	0.0	12.8
性別不明	6	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3

7)同性とのセックス経験

「これまでに同性とセックスしたことがあるか」には、回答者全体の1.5%が「ある」。96.4%が「ない」と回答。30代で1.9%、20代で1.7%となっていた。

8)過去に同性とセックスした相手の人数

同性のセックス経験のある女性のうち、「1人」がもっとも多く、回答者全体の52.4%。「2人」11.9%、「3人」14.3%。「50～99人」も2.4%いた。10代は過去に同性とセックスした相手の数はゼロであった。

これまでに同性とセックス(性交渉)したことがあるか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	ある	ない	不明
女性	2,824	1.5	96.4	2.2
10代	138	0.0	97.8	2.2
20代	1,051	1.7	96.6	1.7
30代	891	1.9	96.1	2.0
40代	500	1.0	96.2	2.8
50代	189	1.1	96.8	2.1
60代	46	0.0	91.3	8.7
年齢不詳	9	0.0	100.0	0.0
男性	95	4.2	93.7	2.1
性別不明	10	20.0	70.0	10.0

今までに、何人の同性とセックス(性交渉)したか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	1人	2人	3人	4人	5~9人	10~19人	20~49人	50~99人	100人以上	不明
女性	42	52.4	11.9	14.3	7.1	9.5	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	18	44.4	16.7	11.1	5.6	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
30代	17	64.7	5.9	11.8	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	5	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢不詳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
性別不明	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9) 同性との初交のきっかけ

一番多かったのは「愛していたから」で47.8%。次いで「遊びや好奇心で」19.0%、「無理やり迫られて」「さびしくて」7.1%となっている。「愛していたから」は20代、30代、40代で高く、「無理やり迫られて」は50代が、「ただなんとなく」は30代、「無理やり迫られて」は50代で多かった。

同性と初めてセックス(性交渉)をするきっかけは？

(単一回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	愛していたから	遊びや好奇心	酒を飲んだ勢	相手をつなぎ止めて	無理やり迫られた	お金が欲しくて	ただなんでも	さびしくて	この中にはない	不明
女性	42	47.8	19.0	4.8	0.0	7.1	2.4	4.8	7.1	7.1	0.0
10代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	18	55.6	22.2	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0
30代	17	35.3	23.5	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8	5.9	11.8	0.0
40代	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
50代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
60代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢不詳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
性別不明	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(4) セックス(性交渉)経験のある方の性意識・性行動

1) この一年間の口腔性交の経験

「口腔性交とは、男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること」と定義した上で、「この一年間で、口腔性交の経験があるか」を聞き

た。「している(毎回している+時々している)」が全体の56.8%、「していない(ほとんどしていない+していない)」は36.2%。「毎回している」割合で多いのは、若年齢ほど多く、10代73.9%、20代72.6%、30代57.6%の順。「していない」は60代がもっとも多く89.1%、50代73.8%。若い世代では極めて日常化した行為であると言える。

この一年間で、口腔性交の経験があるか

(口腔性交とは、男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	毎回している	時々している	ほとんどしていない	していない	不明
女性	2,695	24.0	32.8	10.9	25.3	7.0
10代	88	28.4	45.5	6.8	6.8	12.5
20代	998	32.2	40.4	10.0	10.8	6.6
30代	874	24.3	33.3	12.4	22.3	7.8
40代	494	14.8	23.1	12.1	42.7	7.3
50代	187	7.0	17.1	9.1	64.7	2.1
60代	46	2.2	2.2	4.3	84.8	6.5
年齢不詳	8	25.0	37.5	12.5	25.0	0.0
男性	95	27.4	37.9	11.6	12.6	10.5
性別不明	8	12.5	37.5	12.5	37.5	0.0

2) 口腔性交の際、コンドームを使うか

口腔性交を「毎回している」「時々している」「ほとんどしていない」と回答した女性に、「口腔性交の際、性感染症を予防するためにコンドームを使うか」を尋ねた。

「まったく使わない」が断然トップで、全体の87.2%、「使うときと使わないときがある」までを加えると97.0%であり、日本人には口腔性交にコンドームが必要であるとの認識はまったくと言っていいほどにない。

この傾向は全年齢を通じて同様である。

口腔性交の際、性感染症を予防するために、コンドームを使うか？

(口腔性交を「毎回している」「時々している」「ほとんどしていない」と回答した方)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	必ず使う	使うときと使わないときがある	まったく使わない	不明
女性	1,825	2.7	9.8	87.2	0.3
10代	71	2.8	8.5	88.7	0.0
20代	824	2.3	9.0	88.5	0.2
30代	611	2.3	9.7	87.7	0.3
40代	247	4.5	12.6	82.6	0.4
50代	62	4.8	11.3	83.9	0.0
60代	4	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢不詳	6	0.0	33.3	66.7	0.0
男性	73	6.8	19.2	74.0	0.0
性別不明	5	0.0	0.0	100.0	0.0

3) 金をはらって、金をもらってのセックス経験

「恋人あるいは配偶者(妻あるいは夫)以外に、「お金をはらって」あるいは「お金をもらって」セックスしたことがあるかと尋ねると、「ある」は5.9%に過ぎないが、その傾向は若年齢ほど高くなっていた。10代の女性では9.1%であっ

た。

恋人あるいは配偶者(妻あるいは夫)以外に、「お金をはらって」あるいは「お金をもらって」セックスしたことがあるか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性態度・性行動調査」、2012)

	合計	ある	ない	わからない	不明
女性	2,695	5.9	90.8	0.5	2.8
10代	88	9.1	87.5	2.3	1.1
20代	998	8.3	88.8	0.6	2.3
30代	874	5.8	90.6	0.6	3.0
40代	494	2.8	94.1	0.2	2.8
50代	187	1.6	94.7	0.0	3.7
60代	46	0.0	91.3	0.0	8.7
年齢不詳	8	0.0	87.5	0.0	12.5
男性	95	67.4	28.4	1.1	3.2
性別不明	8	12.5	87.5	0.0	0.0

4) 初交年齢

「最初にセックス(性交渉)した年齢」を聞いた。平均初交年齢は、全体で18.8歳(標準偏差3.3歳)。性交経験がある者に限るが、初交年齢の低年齢化が目立つ。10代女性が15.7歳、20代17.8歳、30代19.1歳、40代19.8歳、50代20.9歳、60代22.3歳であり、10代に比べて、5.2歳、6.6歳の開きが起こっている。

最初にセックス(性交渉)をした年齢(歳)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性態度・性行動調査」、2012)

	件数	平均	分散	標準偏差	最大値	最小値	中央値
女性	2,624	18.8	11.1	3.3	60.0	10.0	18
10代	88	15.7	3.1	1.8	19.0	10.0	16
20代	978	17.8	6.6	2.6	29.0	12.0	18
30代	845	19.1	10.5	3.2	37.0	11.0	18
40代	483	19.8	11.8	3.4	42.0	13.0	19
50代	184	20.9	12.7	3.6	37.0	14.0	20
60代	42	22.3	41.6	6.4	60.0	16.0	21
男性	91	19.2	14.0	3.7	29.0	12.0	19

5) 初交についての考え方

「最初のセックス(性交渉)をする前に、「初めてのセックス(初体験)」をどう考えていた

最初のセックス(性交渉)をする前に、「初めてのセックス(初体験)」をどう考えていたか？ (単一回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性態度・性行動調査」、2012)

	合計	かなり重大なことだと感じていた	やや重大なことだと感じていた	やや軽く考えていた	かなり軽く考えていた	不明
女性	2,695	40.1	33.4	20.3	4.6	1.6
10代	88	37.5	36.4	15.9	10.2	0.0
20代	998	38.4	31.2	22.8	6.0	1.6
30代	874	37.8	33.9	22.9	3.8	1.7
40代	494	44.1	35.6	15.6	3.4	1.2
50代	187	46.0	38.0	12.8	2.1	1.1
60代	46	60.9	19.6	6.3	4.3	8.7
年齢不詳	8	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5
男性	95	24.2	30.5	29.5	13.7	2.1
性別不明	8	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

かを聞いた。「重大だと感じていた(かなり重大だと感じていた+やや重大だと感じていた)」が全体の77.5%。この傾向は、高年齢ほど多く、60代では80.5%、50代84.0%、

6) 初交相手との知り合い方

「初めてセックス(性交渉)した相手(配偶者を含む)とどこで知り合ったか」を聞くと、もっとも多かったのが「友人や先輩から紹介され知り合った」32.4%、次いで「職場やアルバイト先で知り合った」20.1%、「塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った」16.7%と続く。「友人や先輩から紹介され知り合った」は若年齢で、「職場やアルバイト先で知り合った」は高年齢で多い傾向があった。

初めてセックス(性交渉)をした相手(配偶者を含む)とどこで知り合ったか？ (単一回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性態度・性行動調査」、2012)

	合計	幼なじみで好意を持ってようになった	友人や先輩から紹介された	塾、ゼミ、クラブなどで知り合った	職場やアルバイト先で知り合った	塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った	町で声をかけられた	お見合いによって知り合った	この中では不明
女性	2,695	8.6	32.4	16.7	20.1	3.6	3.4	1.8	11.7
10代	88	9.1	30.7	15.9	12.5	12.5	3.4	0.0	15.9
20代	998	10.1	33.6	17.3	15.9	6.1	3.4	0.0	12.0
30代	874	6.9	35.0	16.6	20.0	2.9	3.8	1.0	11.7
40代	494	9.1	28.3	17.2	27.9	0.0	3.2	2.6	10.7
50代	187	9.6	29.9	13.9	23.5	0.0	1.6	9.1	10.7
60代	46	2.2	15.2	8.7	28.3	0.0	4.3	21.7	10.9
年齢不詳	8	0.0	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5
男性	95	11.6	17.9	13.7	22.1	4.2	3.2	0.0	25.3
性別不明	8	37.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0

「携帯やパソコンメールで知り合った」は全体の3.6%に過ぎないが、10代は12.5%、20代6.1%、30代2.9%と高かった。

7) 初交のきっかけ (単一回答)

「初めてセックス(性交渉)をするきっかけ」を聞いた。「愛していたから」が全体の66.7%でトップ。これは全年齢に共通しているが、40代、50代がそれぞれ70.4%、77.0%と概して高かった。第2位は「遊びや好奇心から」で10.7%。20代13.7%、30代10.2%。「無理やり迫られて」は3.5%と少ないが10代は14.8%と他を圧倒している。「ただなんとなく」も7.6%であるが若年齢ほど多い傾向にある。「お金がほしくて」は全体の0.1%(10代1.1%、20代0.2%)。

初めてのセックス(性交渉)をするきっかけは、どのようなことだったか？
(単一回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	強し ていた から	遊び や好 奇心 から	酒を 飲ん だ勢 いで	相手をつ なぎ止め ておきた くて	無理 やり 迫ら れて	友人に 連れら れて	お金 が欲 しく て	た だ な ん と な く	さ び し く て	この 中 に は な い	不明
女性	2,695	66.7	10.7	1.7	1.2	3.5	2.3	0.1	7.6	0.4	4.8	1.0
10代	88	63.6	6.8	0.0	1.1	14.8	1.1	1.1	9.1	2.3	0.0	0.0
20代	998	64.3	13.7	1.1	1.1	3.1	2.7	0.2	8.3	0.4	4.3	0.7
30代	874	65.3	10.2	2.7	1.3	3.4	3.0	0.1	8.6	0.3	3.8	1.3
40代	494	70.4	8.9	1.4	1.2	2.8	1.6	0.0	5.3	0.4	7.3	0.6
50代	187	77.0	3.7	1.1	1.1	3.2	0.0	0.0	5.9	0.5	6.4	1.1
60代	46	67.4	8.7	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	10.9
年齢不詳	100	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
男性	95	49.5	28.4	2.1	0.0	3.2	2.1	0.0	1.1	3.2	9.5	1.1
性別不明	8	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0

8) 出会ってから初交が行われるまでの期間

「初めてのセックス(性交渉)した相手と、出会ってからセックス(性交渉)するまでの交際期間」を尋ねると、「3か月未満」が24.3%とトップで、「1か月未満」22.4%、「6か月未満」18.1%、「1年未満」13.6%の順。「1日(出会ったその日)」も3.7%いた。若年齢は出会ってからセックスするまでの交際期間が概して短く、1週間未満(1日+1週間未満)が21.6%と他の年齢層に比べて多く、高年齢ほど交際期間が長くなる傾向にある。

初めてセックス(性交渉)した相手と、出会ってからセックス(性交渉)するまでの交際期間は？(単一回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	1日(出会ったその日)	1週間未満	1か月未満	3か月未満	6か月未満	1年未満	3年未満	3年以上	不明
女性	2,695	3.7	5.5	22.4	24.3	18.1	13.6	7.7	3.4	1.3
10代	88	8.0	13.6	26.1	18.2	15.9	12.5	5.7	0.0	0.0
20代	998	5.1	7.6	24.5	27.1	14.9	10.9	6.1	2.6	1.1
30代	874	3.4	4.8	26.3	25.6	17.2	12.2	5.7	3.0	1.7
40代	494	2.0	2.2	17.4	21.1	23.7	15.8	11.3	5.7	0.8
50代	187	0.5	2.7	7.0	17.6	26.7	22.5	16.0	5.3	1.6
60代	46	2.2	2.2	17.4	19.6	41.3	6.5	2.2	6.5	0.0
年齢不詳	8	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0
男性	95	21.1	5.3	25.3	22.1	8.4	9.5	2.1	5.3	1.1
性別不明	8	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0

(5) コンドームの使用について

1) 初交時のコンドーム使用

「初めてのセックス(性交渉)のときコンドームを使ったか」に対しては64.8%が「使った」と回答したものの、「使わなかった」も24.7%いた。初交時のコンドーム使用は、若年齢ほど「使った」割合が高く、20代では74.3%、10代67.0%、30代65.8%。

2) コンドーム使用についての考え(複数回答)

「コンドームを使うことについての考え」を聞

いた。回答者全体では「安心できる」が67.2%とトップ、次いで「マナーである」49.9%、「相手からの愛情(相手への責任)を感じる」37.9%、「気持ちよくない」11.1%、「面倒くさい」8.8%と続く。「安心できる」は若年齢ほど高く、10代76.1%、20代71.4%、30代62.5%、40代67.2%。

「マナーである」も10代52.3%、20代55.5%、30代36.5%、40代31.0%と若年齢ほど高く、「気持ちよくない」「相手が嫌がるので使っていない」も同様若年齢に多い。高年齢に多いのは「雰囲気壊れる」。

初めてのセックス(性交渉)のときコンドームを使ったか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	使った	使わなかった	覚えていない	不明
女性	2,695	64.8	24.7	9.9	0.6
10代	88	67.0	27.3	5.7	0.0
20代	998	74.3	17.2	8.1	0.3
30代	874	65.8	24.1	9.8	0.2
40代	494	54.3	32.4	12.3	1.0
50代	187	43.3	40.1	15.5	1.1
60代	46	37.0	45.7	10.9	6.5
年齢不詳	8	50.0	37.5	12.5	0.0
男性	95	70.5	24.2	4.2	1.1
性別不明	8	62.5	12.5	25.0	0.0

コンドームを使うことについての考えは？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	かっ ご こ 悪 い	面 倒 く さ い	雰 囲 気 が 壊 れ る	相 手 が 嫌 が る の で 使 っ て い な い	気 持 ち よ く な い	か っ こ い	安 心 で き る	相 手 か ら の 愛 情 を 感 じ る	マ ナー で あ る	あ て は ま る も の は な い	不明
女性	2,695	0.4	8.8	7.4	4.8	11.1	1.6	67.2	37.9	49.9	3.2	0.8
10代	88	0.0	5.7	3.4	8.0	10.2	4.5	76.1	52.3	52.3	2.3	0.0
20代	998	0.1	8.8	6.3	5.8	12.3	2.1	71.4	44.4	55.5	3.2	0.5
30代	874	0.5	9.2	8.5	4.7	12.7	1.5	62.5	36.5	48.4	2.3	0.3
40代	494	1.0	10.1	7.9	3.4	8.5	1.0	67.2	31.0	44.1	4.5	0.6
50代	187	0.0	4.8	8.6	3.7	7.0	0.0	63.1	27.8	45.5	2.7	2.1
60代	46	0.0	8.7	8.7	0.0	2.2	0.0	69.6	15.2	26.1	8.7	10.9
年齢不詳	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	75.0	0.0	0.0
男性	95	0.0	28.4	7.4	2.1	24.2	1.1	50.5	8.4	38.9	2.1	1.1
性別不明	8	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	37.5	37.5	62.5	0.0	0.0

3) 決まった交際相手とのセックスでのコンドーム使用(この一年間)。

「この一年では、決まった交際相手(配偶者や同性の相手を含む)とのセックス(性交渉)でコンドームを毎回使っているか」を聞いた。「一年以内に決まった交際相手とセックス(性交渉)をしていない」が12.9%、「妊娠を望んでいるので使っていない」が12.4%いるものの、「必ず使っている」は19.3%、「使うときと使わないときがある」28.1%。「使っている(必ず使っている+使うときと使わないときがある)」は若年齢に多く、10代では70.6%、20代61.4%、30代33.7%であり、妊娠から解放され

た世代が、コンドームの使用に消極的である可能性が高い。女性の30代は「妊娠を望んでいるので、使っていない」割合が高い他の年齢層に比べて極めて高い。

この一年では、決まった交際相手(配偶者や同性の相手を含む)とのセックス(性交渉)でコンドームを毎回使っているか?

(北村邦夫:「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	必ず使っている	使うときと使わないときがある	使っていないが使用も考えている	使っていない	妊娠を望んでいる	配偶者や決まった交際相手ではない	1年以内にセックスをしていない	不明
女性	2,695	19.3	28.1	8.8	15.6	12.4	1.5	12.9	1.4
10代	88	31.8	39.8	18.2	8.0	1.1	0.0	1.1	0.0
20代	998	23.5	37.9	9.7	12.6	9.6	1.4	4.7	0.5
30代	874	14.5	25.3	8.4	14.9	23.9	1.4	10.6	1.0
40代	494	19.2	20.0	7.7	20.9	5.9	1.4	23.5	1.4
50代	187	16.6	11.2	5.3	22.5	0.0	2.1	35.8	6.4
60代	46	4.3	2.2	2.2	23.9	0.0	4.3	50.0	13.0
年齢不詳	8	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
男性	95	25.3	26.3	8.4	14.7	5.3	2.1	16.6	1.1
性別不明	8	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5

4) 決まった交際相手以外とのセックスでのコンドームの使用(この一年間)

「この一年では、決まった交際相手(配偶者や同性の相手を含む)とのセックス(性交渉)でコンドームを毎回使っているか」を聞いた。「決まった交際相手(配偶者や同性の相手を含む)以外とのセックス(性交渉)はない」が75.1%と大半を占めているが、「使っている(必ず使っている+使うときと使わないときがある)」が14.5%でこの傾向は若年齢ほど多く、10代では26.1%、20代20.2%、30代11.0%。

この一年では、決まった交際相手(配偶者や同性の相手を含む)以外とのセックス(性交渉)でコンドームを毎回使っているか?

(北村邦夫:「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	必ず使っている	使うときと使わないときがある	使っていないが使用も考えている	使っていない	交際相手以外とのセックスはない	不明
女性	2,695	6.4	8.1	2.8	3.5	75.1	4.1
10代	88	10.2	15.9	5.7	3.4	64.8	0.0
20代	998	7.9	12.3	2.6	3.4	71.8	1.9
30代	874	5.9	5.1	3.1	3.1	80.3	2.4
40代	494	6.3	5.3	3.2	3.0	74.9	7.3
50代	187	0.5	4.3	1.1	6.4	75.9	11.8
60代	46	0.0	0.0	0.0	8.7	63.0	28.3
年齢不詳	8	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0
男性	95	23.2	31.6	6.3	1.1	35.8	2.1
性別不明	8	12.5	12.5	12.5	0.0	62.5	0.0

5) コンドームを使っている理由(複数回答)

現在コンドームを使っていると回答した方に、「コンドームを使っている理由は何か」と尋ねると、「確実な避妊法だと思うから」が64.9%と第一位を占め、「安心できるから」44.2%、「どこでも手に入りやすいから」も17.5%、「よく使われているから」16.1%いた。「性感染症予防

のため」「安心できるからは」は概して若年齢で多い。

**現在コンドームを使っていると答えた方
コンドームを使っている理由は何か?(複数回答)**

(北村邦夫:「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	性感染症予防のため	確実な避妊法だと思うから	相手が使っているから	コンドーム以外の避妊方法知らないから	どこでも手に入りやすいから	安心できるから	よく使われているから	なんとなく	この中ではない	不明
女性	1,363	43.3	44.9	9.4	3.5	4.1	17.5	44.2	16.1	3.4	1.8
10代	68	60.3	47.1	16.2	4.4	5.9	17.6	47.1	27.9	4.4	0.0
20代	653	51.3	44.6	9.0	2.5	5.2	19.1	49.9	17.0	2.6	2.3
30代	378	35.2	41.8	8.7	5.0	2.9	16.7	37.6	15.3	4.5	1.6
40代	202	31.7	53.5	8.9	3.5	2.5	15.3	41.6	14.4	2.5	0.6
50代	54	24.1	38.9	13.0	8.6	3.7	13.0	31.5	3.7	3.7	3.7
60代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
年齢不詳	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	40.0
男性	66	69.7	48.5	3.0	7.6	3.0	13.6	34.8	7.6	1.5	0.0
性別不明	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0

6) コンドームを使わないという回答者は性感染症についてどう感じているか

現在コンドームを使わないことがあると答えた方に、「性感染症に対して、どのように感じているか」を尋ねると、「自分には関係ないとは思わないが、危機感はない」が最多で41.3%。この傾向は30代、40代、50代で多く、それぞれ45.0%、49.0%、43.6%。「身近に感じており、危機感がある」は32.8%だが、10代46.8%、20代41.0%、30代30.2%、40代19.6%と明らかに若年齢に多い。「自分とは関係ない」は3.1%だが、40代6.5%、50代9.0%、60代14.3%

**現在コンドームを使わないことがあると答えた方
性感染症に対して、どのように感じているか?**

(北村邦夫:「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	自分とは関係ない	関係がないと思わ ないが危機感 はない	身近に感じて おり、危機感 がある	この中 はない	不明
女性	1,473	3.1	41.3	32.8	6.7	16.1
10代	58	1.7	25.9	46.6	8.6	17.2
20代	629	1.0	37.5	41.0	4.9	15.6
30代	444	2.9	45.0	30.2	6.3	15.5
40代	245	6.5	49.0	19.6	10.2	14.7
50代	78	9.0	43.6	15.4	11.5	20.5
60代	14	14.3	14.3	14.3	7.1	50.0
年齢不詳	5	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0
男性	56	5.4	16.1	66.1	1.8	10.7
性別不明	5	0.0	40.0	0.0	0.0	60.0

など高年齢に多い。

7) コンドームが破れたあるいは精液が漏れてしまった経験

(現在性交渉がある人)に、『かつてコンドームが破けた』あるいは『はずれて精液がもれてしまった』経験があるかを聞いたところ、「ある」が21.9%、「ない」が66.0%という結果であった。年齢をみると、「ある」は10代25.0%、20代24.5%、40代23.1%、50代22.5%で高い傾向にあるが、30代18.0%、60代では13.0%にと

どまっていた。一方、「覚えていない」が高年齢で多いが、「ない」は若年齢ほど少なかった。

(現在性交渉がある人)
かつて「コンドームが破けた」あるいは「はずれて精液がもれてしまった」経験があるか？

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	ある	ない	覚えていない	コンドームを1度も使ったことない	不明
女性	2,695	21.9	66.0	7.4	1.2	3.5
10代	88	25.0	69.3	4.5	0.0	1.1
20代	998	24.5	67.7	4.2	0.9	2.6
30代	874	18.0	68.5	8.9	1.3	3.3
40代	494	23.1	62.6	9.5	1.0	3.8
50代	187	22.5	57.8	11.8	2.7	5.3
60代	46	13.0	52.2	13.0	4.3	17.4
年齢不詳	8	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0
男性	95	29.5	63.2	6.3	0.0	1.1
性別不明	8	12.5	62.5	0.0	12.5	12.5

8) コンドームが破けた、あるいはコンドームがはずれたことのある人に、その時の対処法

かつて「コンドームが破けた」あるいは「コンドームがはずれて精液がもれてしまった」経験のある人に、「その時、どのように対処したか」(複数回答)を聞いた。「生理が来るのを待った」が最多で 59.3%、「緊急避妊を行った」も 25.8%いた。「緊急避妊を行った」については認知度の違いなのか、10代 45.5%、20代 42.0%と他の年齢層を圧倒しており、30代 20.4%と若年齢で多いが、40代 3.5%、50代 2.4%と極めて低率であった。「生理が来るのを待った」は高年齢ほど高い。

かつて「コンドームが破けた」あるいは「はずれて精液がもれてしまった」経験がある人
その時、どのように対処したか？(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	気にした				覚えていない	不明
		かった	生理が来るのを待った	緊急避妊を行った	その他		
女性	590	5.3	59.3	25.8	5.6	3.7	0.3
10代	22	4.5	40.9	45.5	9.1	0.0	0.0
20代	245	4.5	45.7	42.0	6.5	0.8	0.4
30代	157	6.4	65.0	20.4	5.7	2.5	0.0
40代	114	4.4	78.9	3.5	5.3	7.9	0.0
50代	42	9.5	71.4	2.4	0.0	14.3	2.4
60代	6	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0
年齢不詳	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
男性	28	21.4	39.3	10.7	7.1	21.4	0.0
性別不明	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(6) 性感染症についての認識

1) 聞いたことがある性感染症 (複数回答)

エイズ(HIV)、クラミジア、梅毒、淋病、ケジラミ、ヘルペス、尖圭コンジローマ、トリコモナス、B型肝炎など9疾患を挙げて、「聞いたことがある性感染症」を複数回答してもらった。その結果、「聞いたことがある」、換言すればもっとも認知度の高い性感染症はエイズ(HIV)で94.4%、次いでクラミジア91.3%、

梅毒78.3%、淋病73.5%、ヘルペス71.6%、ケジラミ60.6%の順。性感染症としての認知度が低いのは尖圭コンジローマで35.3%、トリコモナス49.0%、B型肝炎50.3%など。年齢による違いをみると、梅毒・淋病・トリコモナスは高年齢に、クラミジア・HIV(エイズ)は概して若年齢に多い。

聞いたことがある性感染症とは(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	聞いたことがある性感染症									性感染症について聞いたことはない	不明	
		エイズ(HIV)	クラミジア	梅毒	淋病	ケジラミ	ヘルペス	尖圭コンジローマ	トリコモナス	B型肝炎			その他
女性	2,824	94.4	91.3	78.3	73.5	60.6	71.6	35.3	49.0	50.3	4.2	0.2	3.2
10代	138	96.4	85.5	60.9	55.1	37.0	71.0	25.4	27.5	41.3	4.3	0.7	2.2
20代	1,051	95.5	94.1	72.6	69.6	59.6	78.8	39.5	46.2	51.4	6.2	0.2	2.6
30代	891	94.5	92.7	79.9	73.1	64.2	70.4	34.7	47.3	47.9	3.7	0.1	2.9
40代	500	93.0	89.2	88.4	82.8	65.0	66.0	34.0	57.8	54.0	1.8	0.2	4.0
50代	189	91.5	84.7	88.9	85.2	57.7	59.8	29.6	63.5	52.4	2.1	0.0	5.3
60代	46	87.0	67.4	80.4	80.4	52.2	47.8	19.6	63.0	54.3	2.2	2.2	8.7
年齢不詳	9	88.9	77.8	66.7	66.7	33.3	55.6	33.3	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1
男性	95	94.7	90.5	90.5	92.6	73.7	77.9	46.3	27.4	45.7	3.2	0.0	1.1
性別不明	10	90.0	70.0	60.0	60.0	40.0	40.0	30.0	50.0	40.0	10.0	0.0	10.0

3) 性感染症の検査をうけたことがあるか

(性感染症については聞いたことがある人に)「性感染症に感染しているかどうかを知る目的で検査を受けたことがあるか」を聞いた。「受けたことがある」は43.8%、「受けたことがない」55.7%であった。「受けたことがある」は20代が最多で51.9%、次いで30代47.3%が高かった。

(性感染症について聞いたことがある人)
性感染症に感染しているかどうかを知る目的で検査をうけたことがあるか

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	検査をうけたことがあるか		不明
		受けたことがある	受けたことがない	
女性	2,727	43.8	55.7	0.5
10代	134	27.6	71.6	0.7
20代	1,022	51.9	47.8	0.3
30代	864	47.3	52.3	0.3
40代	479	35.5	63.9	0.6
50代	179	21.8	76.5	1.7
60代	41	22.0	78.0	0.0
年齢不詳	8	12.5	87.5	0.0
男性	94	64.9	35.1	0.0
性別不明	9	22.2	77.8	0.0

(7) 性感染症の検査を受けた方の意識と行動

1) 性感染症の検査を受けようと思ったきっかけ

「性感染症の検査を受けようと思ったきっかけ」を複数回答で尋ねると、トップは「気になる症状(自覚症状)があったから」で53.5%、「医師から勧められて」20.5%、「何に影響されたわけではなく、自分の意志で」12.2%と続く。「気になる症状があったから」検査を受けるのは当然だが、10代で70.3%、20代57.5%、60

代 77.8%と年齢によるばらつきが目立つ。「医師から勧められて」「何に影響されたわけではなく意志でも同様で年齢によるばらつきがある。「学校での性教育で学んだから」は3.9%と低率であるが、10代8.1%、20代5.7%など若年齢において目立っている。

性感染症の検査を受けようと思ったきっかけ(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	パートナーが性感染症にかかったから	気になる症状があったから	医師から勧められたから	友人や家族が勧められたから	パートナーが変ったから	学校での性教育で学んだから	テレビや新聞等の番組や記事を見て	何に影響されたわけではない	その他	不明
女性	1,195	10.4	53.5	20.5	4.5	7.3	3.9	3.3	12.2	13.8	1.1
10代	37	10.8	70.3	21.6	10.8	2.7	8.1	2.7	13.5	0.0	2.7
20代	530	11.1	57.5	21.9	6.4	9.2	5.7	4.2	13.2	8.9	1.1
30代	409	9.0	52.3	18.1	3.2	7.6	2.4	2.2	11.5	17.4	1.0
40代	170	12.4	38.2	23.5	1.2	2.9	2.4	4.1	11.2	22.9	1.2
50代	39	5.1	53.8	17.9	2.6	2.6	0.0	2.6	7.7	15.4	0.0
60代	9	11.1	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
男性	61	9.8	78.7	6.6	1.6	9.8	1.6	3.3	13.1	6.6	1.6
性別不明	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

さらに、「検査を受けようと思った一番のきっかけ」を聞くと、「気になる症状(自覚症状)があったから」45.3%、「医師から勧められて」16.4%、「何に影響されたわけではなく、自分の意志で」7.8%、「パートナー(性交渉の相手)が感染していたから」6.9%と続く。これを年齢でみると、「気になる症状があったから」「医師から勧められて」「何に影響されたわけではなく、自分の意志で」など概して年齢によるばらつきが目立っている。

2) 性感染症の検査を受けた場所(複数回答)

「性感染症の検査をどこで受けたか」を複数回答で聞いた。「医療機関」が最多で94.3%、「保健所などの公的機関」は7.2%、「在宅(郵送インターネット調査)」も0.9%であった。一般には性感染症の検査は医療機関で行うとの認識が定着しているようだ。

性感染症の検査を受けようと思った一番のきっかけ

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	パートナーが性感染症にかかったから	気になる症状があったから	医師から勧められたから	友人や家族が勧められたから	パートナーが変ったから	学校での性教育で学んだから	テレビや新聞等の番組や記事を見て	何に影響されたわけではない	その他	不明
女性	1,195	6.9	45.3	16.4	2.1	3.1	1.3	1.4	7.8	12.2	3.4
10代	37	5.4	62.2	18.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	8.1
20代	530	7.0	46.6	17.7	2.8	3.6	1.9	1.5	7.7	7.2	4.0
30代	409	6.6	46.9	13.7	2.0	2.9	1.2	1.0	7.8	15.9	2.0
40代	170	8.8	31.8	19.4	0.6	2.9	0.6	2.4	8.8	21.2	3.5
50代	39	5.1	46.2	15.4	2.6	2.6	0.0	2.6	5.1	15.4	5.1
60代	9	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	61	6.6	67.2	4.9	0.0	4.9	1.6	1.6	3.3	4.9	4.9
性別不明	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

性感染症の検査をどこで受けたか(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	医療機関	保健所などの公的機関	在宅(郵送インターネット調査)	その他	不明
女性	1,195	94.3	7.2	0.9	0.6	0.9
10代	37	97.3	2.7	0.0	0.0	2.7
20代	530	95.7	6.6	0.8	0.2	0.8
30代	409	94.1	7.6	0.7	1.0	0.5
40代	170	90.0	9.4	2.4	1.2	2.4
50代	39	94.9	5.1	0.0	0.0	0.0
60代	9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
男性	61	86.9	19.7	1.6	1.6	1.6
性別不明	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

3) 検査の結果、どのような診断を受けたか

「検査の結果、(覚えている範囲で)診断された性感染症」を聞いた(複数回答)。「性感染症にかかっていなかった」が50.0%いたが、クラミジアの診断がもっとも多く29.8%、トリコモナス8.4%、ヘルペス7.3%、淋病3.9%、尖圭コンジローマ3.9%。エイズ(HIV)も0.7%であった。年齢との関連をみると、10代ではクラミジアが若年齢で多く、10代37.8%、20代30.4%、30代32.0%、40代25.3%であった。一方、トリコモナスは10代で10.8%と高いが、40代14.1%、50代20.5%、60代55.6%と高年齢で高い。

検査の結果、(覚えている範囲で)診断された性感染症は(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	エイズ(HIV)	クラミジア	梅毒	淋病	ケジラミ	尖圭コンジローマ	トリコモナス	B型肝炎	その他	性感染症にかかっていなかった	不明	
女性	1,195	0.7	29.8	0.4	3.9	2.2	7.3	3.9	8.4	0.1	6.2	50.0	2.7
10代	37	0.0	37.8	0.0	8.1	2.7	13.5	5.4	10.8	0.0	10.8	37.8	2.7
20代	530	0.6	30.4	0.2	4.5	1.7	7.2	4.9	6.0	0.0	8.5	50.9	1.5
30代	409	0.2	32.0	0.0	2.9	3.4	6.8	3.7	6.6	0.2	4.4	50.1	2.7
40代	170	1.8	25.3	1.8	3.5	1.2	7.1	1.8	14.1	0.0	2.9	51.2	5.3
50代	39	0.0	15.4	2.6	5.1	0.0	10.3	2.6	20.5	0.0	2.6	48.7	7.7
60代	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	11.1	33.3	0.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	61	1.6	39.3	8.2	24.6	4.9	14.8	8.2	0.0	0.0	1.6	27.9	3.3
性別不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

4) 治療が完了した性感染症

「診断の結果、(覚えている範囲で)治療が完了した性感染症は」を尋ねた。その結果、治療完了率が100%の疾患は、ケジラミ、B型肝炎。淋病93.6%、クラミジア93.5%、トリコモナス88.8%、尖圭コンジローマ78.7%、ヘルペス75.9%、梅毒40.0%、エイズ(HIV)については治療が完了していないと回答している。

(8) 性感染症の診断を受けた方の意識と行動

1) 性感染症にかかったことを性交相手に話したか

「性感染症にかかったことを性交の相手に話

したか」を聞いた。「覚えていない」の回答が4.6%にあったが、「話した」は75.8%。「話した」の割合は全年齢で高かった。

診断の結果、(覚えていない範囲で)治療の完了率(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	エイズ(HIV)	クラミジア	梅毒	淋病	ケジラミ	ヘルペス	尖圭コンジローマ	トリコモナス	B型肝炎	その他	治療が完了したものはない
合計	47.3	0.0	93.6	40.0	93.6	100.0	75.9	78.7	88.0	100.0	81.1
女性	47.3	0.0	93.6	40.0	93.6	100.0	75.9	78.7	88.0	100.0	81.1
10代	59.5	-	100.0	-	100.0	100.0	40.0	0.0	50.0	-	75.0
20代	47.5	0.0	91.3	100.0	95.8	100.0	81.6	76.9	90.6	-	82.2
30代	47.2	0.0	94.7	-	91.7	100.0	75.0	93.3	92.6	100.0	83.3
40代	43.5	0.0	95.3	33.3	100.0	100.0	83.3	66.7	83.3	-	60.0
50代	43.6	-	100.0	0.0	50.0	-	50.0	100.0	87.5	-	100.0
60代	66.7	-	100.0	-	-	-	-	100.0	0	-	0
年齢不詳	100.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

と聞くと、「セックス(性交渉)の経験がないから」が5.9%あるものの、「自覚症状がないから」が70.2%でトップ、「特定の相手以外とセックス(性交渉)はしないから」42.5%、「パートナー(性交渉の相手)に症状がないから」24.7%、「いつも予防(コンドームの使用)をしているから」11.9%と続く。「自覚症状がないから」は30代78.8%、40代73.2%で多く、「パートナーに症状がないから」30代27.0%、40代25.8%と多い傾向にあった。「特定の相手以外とセックスしないから」は、高年齢ほど多く、50代53.3%、60代53.1%、40代48.7%、30代46.5%など。これらの理由は男女ともに高年齢ほど多

性感染症の検査を受けたことがない理由は?

(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

性感染症にかかったことを性交の相手に話したか?

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	話した	話さなかった	覚えていない	不明
女性	565	75.8	17.3	4.6	2.3
10代	22	72.7	27.3	0.0	0.0
20代	252	75.9	18.7	3.6	2.0
30代	193	78.8	14.5	4.7	2.1
40代	74	68.9	16.2	10.8	4.1
50代	17	76.5	23.5	0.0	0.0
60代	6	83.3	16.7	0.0	0.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

男性	42	52.4	45.2	2.4	0.0
----	----	------	------	-----	-----

その時、性交の相手は検査(治療)されたか?

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	検査(治療)した	検査(治療)しない	わからない	不明
女性	428	59.6	27.1	12.4	0.9
10代	16	62.5	25.0	12.5	0.0
20代	191	63.4	25.7	9.9	1.0
30代	152	59.2	27.6	12.5	0.7
40代	51	54.9	25.5	17.6	2.0
50代	13	46.2	38.5	15.4	0.0
60代	5	0.0	60.0	40.0	0.0
年齢不詳	0	0.0	0.0	0.0	0.0

男性	22	81.8	9.1	9.1	0.0
----	----	------	-----	-----	-----

性別不明	1	100.0	0.0	0.0	0.0
------	---	-------	-----	-----	-----

2)その時、性交相手は検査(治療)したか

「その時、性交の相手は検査(治療)されたか」を尋ねると、「検査(治療)した」が59.6%、「検査(治療)していない」27.1%。性感染症にかかったことを性交の相手から伝えられた時に検査(治療)した割合は10代62.5%、20代63.4%、30代59.2%、40代54.9%など若年齢ほど多い。

(9)性感染症の検査を受けたことがない方の意識と行動(複数回答)

1)性感染症の検査を受けたことがない理由

「性感染症の検査を受けたことがない理由は」

	性感染症の検査を受けたことがない理由	検査(治療)した	検査(治療)しない	わからない	不明
合計	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0
女性	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0
10代	92.7	0.0	19.0	11.5	16.7
20代	66.3	0.2	35.4	13.5	24.9
30代	78.8	0.2	46.5	9.7	27.0
40代	73.2	0.3	48.7	13.4	25.8
50代	53.3	0.0	53.3	10.9	21.2
60代	53.1	0.0	53.1	3.1	18.8
年齢不詳	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

い傾向にある。また「いつも予防(コンドームの使用)をしているから」は年齢によるばらつきが目立つ。

(10)検査を含めて性感染症の予防について

1)エイズ(HIV)を含む性感染症について、正しいと思われるもの

「エイズ(HIV)を含む性感染症について、正しいと思われるもの」を複数回答で聞いた。国が発表する感染症発生動向調査のうち性感染症報告数(定点報告)は、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症などはここ数年減少あるいは横ばい傾向ある。そのため、「最近、日本の若者の間で性感染症患者が増えている」の設問を「正しい」とするか「間違っている」とするかには評価が分かれるところであるが、回答者の81.1%がこれを正解としている。これを正解とする回答者は若年齢で多い傾向にある。「コンドームを使うことで性感染症やエイズ(HIV)の予防に有効である」は88.4%で、エイズ予防、性感染症予防にコンドームのキャンペーンは国民の間で浸透していることがわかる。「性感染症を治療しないと不妊症になることがある」56.1%、

になる」も若年齢で目立ち、10代 34.1%、20代 28.2%など。「パートナーにどう伝えたらよいかと思う」も同様で、10代50.0%、20代57.4%、30代52.2%と若年齢に多い。

仮に性感染症に感染したとしたら、どう感じると思うか

(複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	いつ、誰が感染したのか気がかる	治るのにかかる心配	治療(治療)するのにかかる心配	治療費用がかかる	治療すれば治るのに時間がかかる	予防すればよいかと思う	パートナーにどう伝えたらよいかと思う	その他	不明
女性	2,824	66.4	79.4	23.3	22.7	2.7	52.7	50.9	1.4	1.1
10代	138	58.7	84.1	29.0	34.1	3.6	50.7	50.0	2.2	0.7
20代	1,051	68.1	81.1	26.2	28.2	2.5	54.7	57.4	1.9	0.6
30代	891	67.6	79.1	21.9	19.1	1.8	52.0	52.2	1.3	1.0
40代	500	65.4	78.2	20.4	19.2	3.2	49.8	43.6	0.4	1.8
50代	189	65.1	76.7	18.5	12.7	4.8	55.0	38.1	0.5	1.6
60代	46	45.7	52.2	15.2	13.0	8.7	43.5	17.4	2.2	4.3
年齢不詳	9	55.6	88.9	33.3	33.3	0.0	66.7	22.2	0.0	0.0
男性	95	67.4	77.9	10.5	16.8	1.1	56.8	51.6	0.0	0.0
性別不明	10	90.0	80.0	10.0	20.0	0.0	40.0	50.0	0.0	0.0

6) 性感染症が予防できることを知っているか
「あなたは性感染症が予防できることを知っているか」を尋ねると91.3%。年齢によるばらつきがあるが、50代93.1%、30代92.5%、20代91.4%など。

性感染症が予防できることを知っているか

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	知っている	知らない	不明
女性	2,824	91.3	8.0	0.6
10代	138	87.7	11.6	0.7
20代	1,051	91.4	8.3	0.3
30代	891	92.5	6.6	0.9
40代	500	90.4	9.0	0.6
50代	189	93.1	5.8	1.1
60代	46	78.3	19.6	2.2
年齢不詳	9	100.0	0.0	0.0
男性	95	92.6	7.4	0.0
性別不明	10	90.0	10.0	0.0

7) 性感染症の予防方法 (複数回答)
「あなたの知っている性感染症の予防方法をすべて選んでください」と問いかけた結果、「コンドームを使う」97.2%が圧倒的多数を占めているものの、数は少ないとは言え「膣外射精」「ピルを服用する」などが予防方法として挙げられているのは意外である。

性感染症の予防方法とは？ (複数回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	コンドームを使う	膣外射精(外出し)	ピルを服用する	その他	くわしくは知らない	不明
女性	2,579	97.2	4.8	12.9	1.8	2.2	0.4
10代	121	95.9	9.9	30.6	2.5	4.1	0.0
20代	961	97.3	5.1	17.7	1.7	2.3	0.2
30代	824	97.7	3.6	10.0	2.1	1.9	0.2
40代	452	96.9	4.0	5.8	1.5	2.2	0.9
50代	176	97.2	7.4	8.0	1.7	1.7	1.1
60代	36	94.4	5.6	8.3	0.0	2.8	2.8
年齢不詳	9	88.9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
男性	88	98.9	6.8	6.8	2.3	1.1	0.0
性別不明	9	88.9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

8) コンドーム利用を増やす方法

「どうすればコンドームの利用が増えると思うか」を聞いた。第一位は「コンドームの有効性(性感染症の予防効果など)を周知する」で54.8%、「いろいろな場所で入手可能にする」17.1%、「使いやすい商品を開発する」13.3%、「値段を安くする」7.3%が続く。「コンドームの有効性を周知する」は高齢で多く、「値段を安くする」は若年齢で多くなっている。

どうすればコンドームの利用が増えると思うか

(単一回答)

(北村邦夫：「医療機関受診者の性意識・性行動調査」、2012)

	合計	値段を安くする	いろいろな場所で入手可能にする	使いやすい商品を開発する	コンドームの有効性を周知する	その他	不明
女性	2,824	7.3	17.1	13.3	54.8	5.1	2.3
10代	138	14.5	13.8	14.5	49.3	5.8	2.2
20代	1,051	9.6	16.6	15.5	50.1	6.3	1.9
30代	891	6.7	19.6	13.2	52.1	5.8	2.5
40代	500	3.6	14.8	11.6	65.6	2.6	1.8
50代	189	2.6	17.5	6.9	66.7	3.2	3.2
60代	46	4.3	17.4	10.9	60.9	0.0	6.5
年齢不詳	9	0.0	11.1	0.0	77.8	0.0	11.1
男性	95	4.2	22.1	20.0	47.4	6.3	0.0
性別不明	10	10.0	20.0	10.0	40.0	0.0	20.0

(11) 性感染症の検査を受けることに対する気持ち

「検査結果を知ることが怖い」「性行動が活発な人だと思われる」「パートナー(恋人・配偶者など)に知られたくない」「パートナー以外の家族(親など)に知られたくない」「検査費用が心配」「どこで受けてよいかわからない」「面倒くさい」「検査機関や医療機関へ出向くことができない」「今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことが怖い」「どのような検査をされるのか不安」「異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある」「うしろめたい」「恥ずかしい」「自己の健康管理のために定期的に受けたい」「パートナーのために検査を受けたい」の15項目について、「とても思う」(1点)、「やや思う」(2点)、「あまり思わない」(3点)、「まったく

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？ 「検査結果を知ることが怖い」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,799	2.1	0.9	0.9
10代	137	2.1	1.0	1.0
20代	1,044	2.0	0.8	0.9
30代	885	2.1	0.9	0.9
40代	495	2.2	0.8	0.9
50代	186	2.3	0.9	1.0
60代	44	2.2	1.1	1.0
男性	94	2.0	0.6	0.8

思わない」(4点)のスケールで評価した。

以下、それぞれの項目の平均点・分散・標準偏差を示した。

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「性行動が活発な人だと思われる」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,789	2.6	0.8	0.9
10代	137	2.6	0.8	0.9
20代	1,042	2.7	0.8	0.9
30代	881	2.6	0.8	0.9
40代	492	2.5	0.8	0.9
50代	186	2.6	0.9	0.9
60代	43	2.7	1.1	1.0
男性	93	2.7	0.6	0.8

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「パートナー(恋人・配偶者など)に知られたくない」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,783	2.6	1.0	1.0
10代	136	2.5	1.1	1.0
20代	1,044	2.6	1.0	1.0
30代	879	2.6	1.0	1.0
40代	490	2.7	1.0	1.0
50代	185	2.8	1.0	1.0
60代	41	2.9	1.1	1.1
男性	93	1.9	0.9	1.0

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「パートナー以外の家族(親など)に知られたくない」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,789	1.9	0.9	1.0
10代	137	1.8	1.0	1.0
20代	1,041	1.8	0.9	0.9
30代	883	1.8	0.8	0.9
40代	493	1.9	0.9	1.0
50代	185	2.3	1.0	1.0
60代	41	2.3	1.3	1.1
男性	93	1.5	0.6	0.8

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「検査費用が心配」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,785	2.4	0.8	0.9
10代	137	2.0	0.7	0.8
20代	1,041	2.3	0.8	0.9
30代	881	2.5	0.8	0.9
40代	490	2.5	0.8	0.9
50代	186	2.8	0.9	0.9
60代	42	2.6	0.8	0.9
男性	92	2.7	0.7	0.9

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「どこで受けてよいかわからない」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,784	3.0	0.9	1.0
10代	137	2.6	1.1	1.0
20代	1,043	3.0	0.9	1.0
30代	881	3.0	0.9	1.0
40代	489	3.0	0.9	1.0
50代	185	3.0	0.8	0.9
60代	41	3.0	1.0	1.0
男性	92	3.0	1.1	1.0

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「面倒くさい」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,781	2.9	0.8	0.9
10代	136	3.0	0.8	0.9
20代	1,041	2.9	0.8	0.9
30代	880	2.9	0.8	0.9
40代	489	2.9	0.8	0.9
50代	186	2.9	0.9	0.9
60代	41	2.9	0.8	0.9
男性	92	2.8	0.9	0.9

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「検査機関や医療機関へ出向くことができない」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,780	3.2	0.7	0.8
10代	137	3.1	0.7	0.8
20代	1,038	3.2	0.7	0.8
30代	882	3.2	0.7	0.8
40代	489	3.2	0.7	0.9
50代	186	3.2	0.8	0.9
60代	40	3.2	0.7	0.8
男性	92	3.3	0.7	0.9

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？

「今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことがこわい」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,779	3.0	0.9	1.0
10代	137	2.7	1.0	1.0
20代	1,042	2.9	1.0	1.0
30代	878	3.0	0.9	1.0
40代	488	3.1	0.8	0.9
50代	185	3.1	0.8	0.9
60代	41	3.0	1.0	1.0
男性	92	2.9	0.9	1.0

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「どのような検査をされるのが不安」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,782	2.4	1.0	1.0
10代	137	2.1	0.8	0.9
20代	1,041	2.3	1.0	1.0
30代	881	2.4	1.0	1.0
40代	489	2.6	0.9	0.9
50代	186	2.7	1.0	1.0
60代	40	2.6	0.9	1.0

男性	92	2.7	1.0	1.0
----	----	-----	-----	-----

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,787	2.3	1.0	1.0
10代	137	2.1	1.0	1.0
20代	1,043	2.3	1.0	1.0
30代	882	2.4	1.1	1.0
40代	490	2.4	1.0	1.0
50代	185	2.4	1.0	1.0
60代	42	2.3	0.9	0.9

男性	92	2.7	0.9	1.0
----	----	-----	-----	-----

性感染症の検査を受けることについて、どのように感じるか？
「うしろめたい」

(1 とても思う 2 やや思う 3 あまり思わない 4 まったく思わない)

	件数	平均	分散	標準偏差
女性	2,785	2.8	0.8	0.9
10代	137	2.6	0.8	0.9
20代	1,041	2.8	0.8	0.9
30代	881	2.8	0.8	0.9
40代	491	2.7	0.9	0.9
50代	184	2.7	0.9	0.9
60代	43	2.5	1.1	1.1

男性	92	2.6	0.9	0.9
----	----	-----	-----	-----

D. 考察

本調査研究で、興味深いデータを多数得ることができた。これを紹介することで考察にかえたい。

1. 学校教育の役割

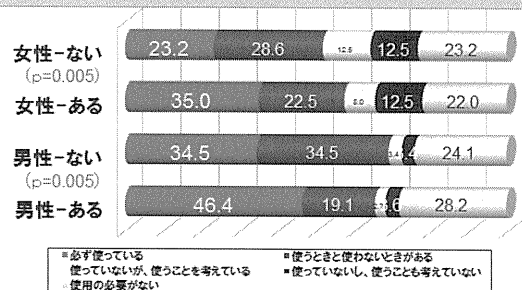
「あなたは学校教育で性感染症の予防方法について聞いたことがあるか」の設問に注目した。インターネット調査でこの設問との各種クロス集計を試みると、以下、学校教育の重要性を示唆する貴重なデータが明らかとなった。ここでは、学校教育に着目するために、30歳未満について絞り込んで解析した。

(1) 学校教育が性感染症予防としてのコンドームの使用を徹底させる。

「学校教育で性感染症の予防方法について聞

いたことがあるか」と「この一年間で、決まった交際相手とのセックスでのコンドーム使用」をクロス集計した。その結果、男女ともに「ある」群では、(コンドームを)「必ず使っている」の割合が有意に高い。

学校教育が性感染症予防としてのコンドームの使用を徹底させる

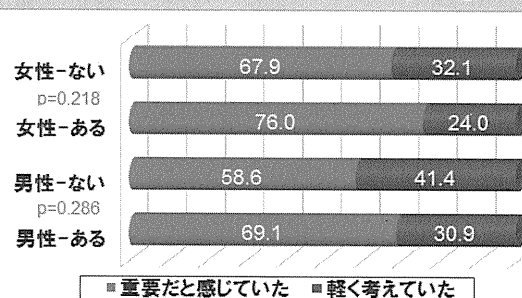


学校教育で性感染症の予防法について聞いたことがある×この一年間で決まった交際相手とのセックスでのコンドーム使用(30歳未満)

(2) 学校で性感染症を学ぶと初めてのセックスを重要だと感じさせる。

「学校教育で性感染症の予防方法について聞いたことがあるか」と「初めてのセックスをどのように感じていたか」をクロス集計した結果、「重要だと感じていた」割合は、男女ともに、「聞いたことがある」群で多い傾向があった。

学校で性感染症を学ぶと初めてのセックスを重要だと感じさせる?



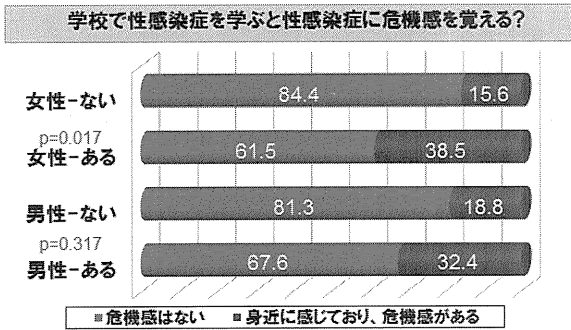
学校教育で性感染症の予防法について聞いたことがある×初めてのセックスをどのように感じていたか(30歳未満)

(3) 学校で性感染症を学ぶと性感染症に危機感を覚える

「学校教育で性感染症の予防方法について聞いたことがあるか」と「性感染症に対してどのように感じているか」をクロス集計した。女性では「ある」群は「身近に感じており、危機感がある」は38.5%で「ない」群15.6%との間で有意に多い。男性では、それぞれ32.4%と18.8%で統計的には差がない (p=0.317)。

(4) 学校で性感染症を学ぶと、性感染症予防のためにコンドームを使うようになる

「学校教育で性感染症の予防法について聞いたことがあるか」と「コンドームを使っている理由」をクロス集計した。「聞いたことがある」群と、「ない」群との間には違いが認められた。特に、コンドームを「性感染症予防のため」と「安心できるから」で顕著であった。



学校教育で性感染症の予防法について聞いたことがある×性感染症に対してどのように感じているか(30歳未満)

学校で性感染症を学ぶと性感染症予防のためにコンドームを使うようになる

	男性-ある	男性-ない	女性-ある	女性-ない
性感染症予防のため	68.8	25.0	62.0	30.0
確実な避妊法だと思うから	67.5	62.5	64.5	60.0
相手が使っているから	5.0	12.5	14.9	13.3
コンドーム以外の避妊法を知らないから	10.0	12.5	9.1	6.7
値段が安いから	25.0	12.5	23.1	30.0
どこでも手に入りやすいから	23.8	16.7	43.0	30.0
安心できるから	52.5	12.5	51.2	33.3
よく使われているから	26.3	8.3	37.2	23.3
なんとなく	2.5	4.2	0.8	0.0
その他	2.5	0.0	2.5	3.3

学校教育で性感染症の予防法について聞いたことがある×コンドームを使っている理由(30歳未満)

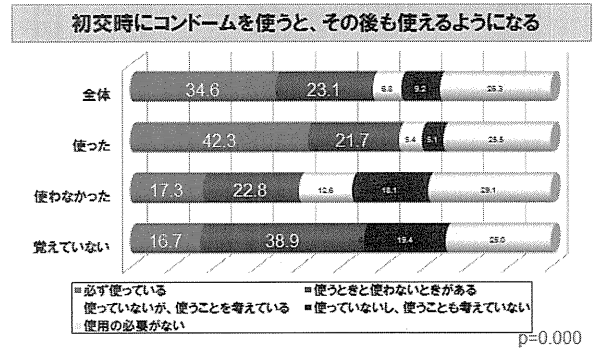
近年、学校における性教育の在り方が議論されており、性教育に対して消極的な自治体なども散見される。しかし、今回の調査研究において、学校教育の中で性感染症の予防方法を学ぶ期待があった若い世代(30歳未満)は、コンドームに対する認識を高め、性感染症予防としてのコンドームの有効活用に積極的になれることを明らかにした意義は大きい。

2. 初めてのセックス(初交)とその後の性感染症予防

(1) 初交時にコンドームを使うと、その後も使えるようになる

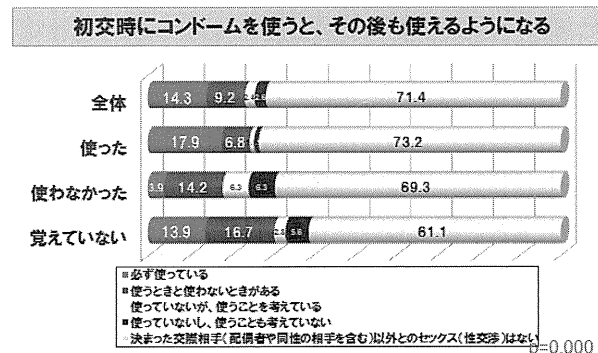
「初めてのセックス(性交渉)の時にコンドームを使った」と「この一年間で、決まった交際相手とのセックスでコンドームを毎回使っている」とのクロス集計を30歳未満について

行った。コンドームを使う必要がないが26.3%いるものの、初交時にコンドームを使った男女は、決まった交際相手とのセックスでコンドームを必ず使うことができる。



初めてのセックス(性交渉)の時にコンドームを使った×この一年間では、決まった交際相手とのセックスでコンドームを毎回使っている(30歳未満)

これは、「決まった交際相手以外とのセックス」でも同様であった。



初めてのセックス(性交渉)の時にコンドームを使った×この一年間では、決まった交際相手以外とのセックスでコンドームを毎回使っている(30歳未満)

(2) 初交時にコンドームを使うと、性感染症予防のためにコンドームを使えるようになる

「初めてのセックス(性交渉)の時、コンドームを使った」と「コンドームを使っている理由」について30歳未満でクロス集計した。その結果、初交時にコンドームを「使った」人は「使わなかった」人に比べて、「性感染症予防のため」が60.7% vs. 40.7%、「安心できるから」48.4% vs. 35.6%など性感染症予防だけでなく、コンドーム使用による快適さを求める傾向が強く、一方、「相手が使っているから」6.0% vs. 23.7%など、初交時にコンドームを「使わなかった」人の消極さが目立つ結果となった。

(3) 初交時にコンドームを使うと、コンドームを使うことをマナーと考える。

「初めてのセックス(性交渉)の時、コンド-

ムを使った」と「コンドームを使うことについての思い」を聞いた。その結果、初交時にコンドームを「使った」人は「使わなかった」人に比べて、統計的に有意な差がでたのは、「マナーである」で 66.9% vs. 45.7%。一方、「雰囲気壊れる」5.4% vs. 14.2%、「相手が嫌がるので使っていない」1.6% vs. 12.6%など、初交時にコンドームを「使っていない」人については、性感染症予防としてのコンドーム使用への認識が甘いことがわかる。統計的には有意差がないが、「面倒くさい」14.1% vs. 20.5%と、「面倒くさい」の割合が「使わなかった」人に多い傾向があった。

初交時にコンドームを使うと、性感染症予防のためにコンドームを使えるようになる

	全体	使った	使わなかった	覚えていない
合計	332	252	59	21
性感染症予防のため	56.0	60.7	40.7	42.9
確実な避妊法だと思うから	64.8	65.9	66.1	47.6
相手が使っているから	9.3	6.0	23.7	9.5
コンドーム以外の避妊法を知らないから	10.2	9.1	13.6	14.3
値段が安いから	22.3	22.2	23.7	19.0
どこでも手に入りやすいから	32.2	29.8	39.0	42.9
安心できるから	44.9	48.4	35.6	28.6
よく使われているから	29.5	28.2	32.2	38.1
なんとなく	1.2	1.2	1.7	0.0
その他	2.7	3.2	0.0	4.8

初めてのセックス(性交渉)の時コンドームを使った×コンドームを使っている理由(30歳未満)

初交時にコンドームを使うと、コンドームを使うことをマナーと考える

	全体	使った	使わなかった	覚えていない
合計	532	369	127	36
カッコ悪い	2.3	2.2	2.4	2.8
面倒くさい	16.0	14.1	20.5	19.4
雰囲気が壊れる*	7.5	5.4	14.2	5.6
相手が嫌がるので使っていない*	4.1	1.6	12.6	0.0
気持ちよくない	15.4	13.6	18.9	22.2
カッコいい	1.3	1.1	2.4	0.0
安心できる	61.3	63.1	53.5	69.4
相手からの愛情(相手への責任)を感じる	37.2	39.0	35.4	25.0
マナーである*	60.9	66.9	45.7	52.8
その他	1.7	1.1	3.9	0.0

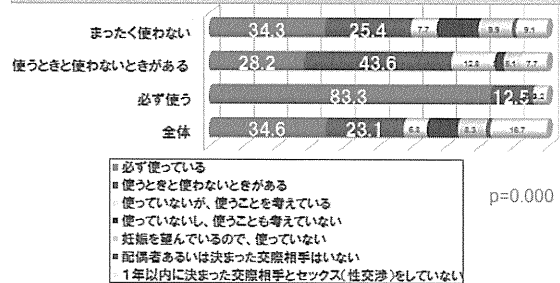
初めてのセックス(性交渉)の時コンドームを使った×コンドームを使うことについての思い(30歳未満) * p<0.01

(4) 口腔性交でコンドームを使う人は、決まった交際相手との間でもコンドームを使える。

わが国の場合、口腔性交が性感染症の温床になっていることを知る人は少ない。本調査でも、口腔性交の経験がある男女は 61.4%と多いにもかかわらず、その際、コンドームを使う人は 11.2%にとどまっている。しかし、口腔性交の際に、性感染症予防のためにコンドームを使う人は、決まった交際相手との間でもコンドームを使うという興味深い結果が出ている。特に、

口腔性交に際してコンドームを「必ず使う」人では、決まった交際相手との間でも、コンドームを「必ず使う」割合が 83.3%と高く、「まったく使わない」人の「必ず使う」割合 34.3%とは際だった違いを見せている。

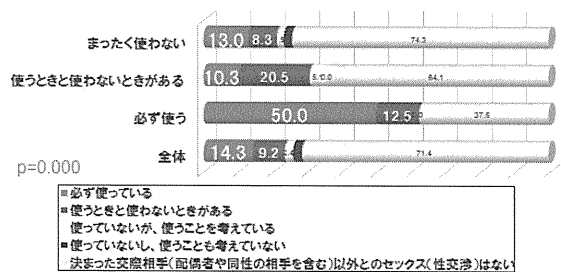
口腔性交でコンドームを使う人は、決まった交際相手との間でもコンドームを使える



口腔性交の際にコンドームを使う×決まった交際相手とのセックスでコンドームを使う(30歳未満)

これは決まった交際相手以外とのセックスにおいてのコンドーム使用にも大きな影響を及ぼしている。

口腔性交でコンドームを使う人は、決まった交際相手以外とのセックスにおいてもコンドームを使える



口腔性交の際にコンドームを使う×決まった交際相手とのセックスでコンドームを使う(30歳未満)

このように、「初めて」のセックス、「初めて」の口腔性交などに際して、性感染症予防のためにコンドームを使用することができるような、徹底した予防教育が効果を奏するものと思われる。

3. 医療機関調査とインターネット調査の比較研究から見てくること

医療機関調査は主として婦人科で実施されたこともあり、インターネット調査との比較研究は「女性」に特化した。医療機関調査の女性回答者数は 2,824 人であったが、このうち 9 人が年齢不詳であるために 2,815 人に絞り込んで集計・解析した。両調査の回答者の属性は、前述した概要をご覧ください。こととするが、医療機関調査の回答者の平均年齢は 33.3 歳 (標

準偏差 10.4 歳)、インターネット調査は 41.0 歳 (同 11.4 歳) であり、後者の調査での平均年齢が高かった。

回答者の年齢分布(女性)

	医療機関調査		インターネット調査	
	2,815	100.0	3,698	100.0
10歳台	138	4.9	152	4.1
20歳台	1,051	37.2	413	11.2
30歳台	891	31.6	1,130	30.6
40歳台	500	17.7	1,217	32.9
50歳台	189	6.7	506	13.7
60歳台	46	1.6	280	7.6
年齢不詳	9	0.3	-	-

(医療機関調査: 33.3歳±10.4歳、インターネット調査41.0歳±11.4歳)

(1) 性感染症の検査を受けることに対する気持ち

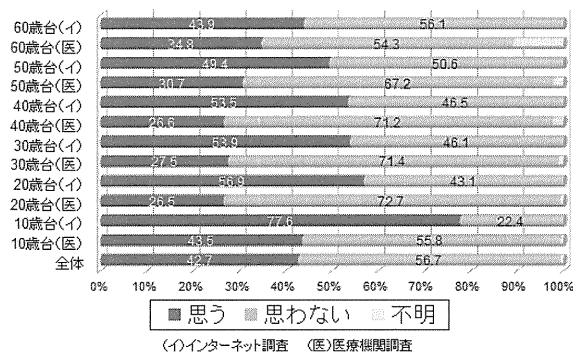
「検査結果を知ることがこわい」「性行動が活発な人だと思われてしまう」「パートナー(恋人・配偶者など)に知られたくない」「パートナー以外の家族(親など)に知られたくない」「検査費用が心配」「どこで受けてよいかわからない」「面倒くさい」「検査機関や医療機関へ出向くことができない」「今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことがこわい」「どのような検査をされるのか不安」「異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある」「うしろめたい」「恥ずかしい」「自己の健康管理のために定期的に受診したい」「パートナーのために検査を受けたい」の15項目について、「思う(とても思う+やや思う)」、「思わない(あまり思わない+まったく思わない)」の2群に分けて両調査の結果を比較した。

いずれも、初診、再診にかかわらず医療との関わりを持っている女性と、一般女性との間には、年代を超えて大きな違いのあることが明らかとなった。

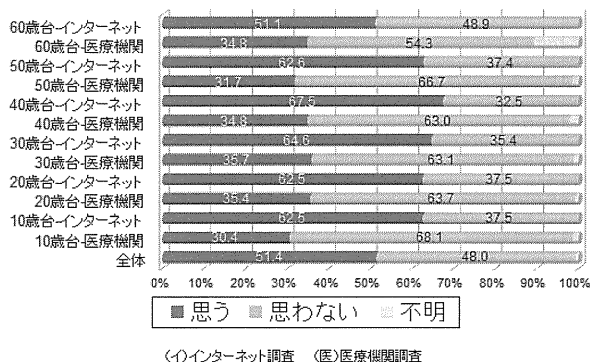
両調査で顕著な違いを認めたのは、性感染症の検査を「どこで受けてよいかわからない」、「面倒くさい」、「検査機関や医療機関へ出向くことができない」などであった。これを都道府県別に比較しても同様な傾向であった。

性感染症の拡大を防止するためには、早期発見・早期治療が不可欠であるが、どこに行ったら検査を受けられるのか、どのようなことが行われるのか、どの程度の費用がかかるのか、どれくらいの時間がかかるのかなど、一般の人が抱く疑問に対して明快に回答するだけでなく、様々な手段を通して広報啓発していく必要が

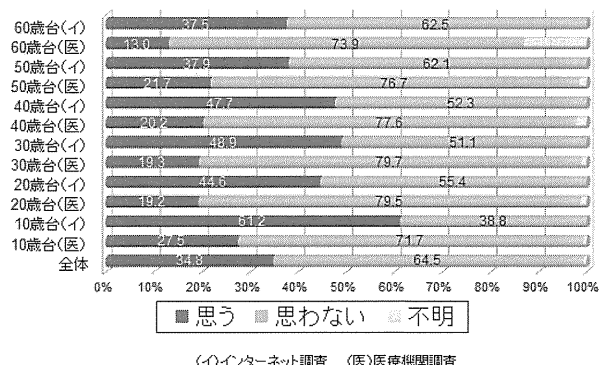
あるのではないだろうか



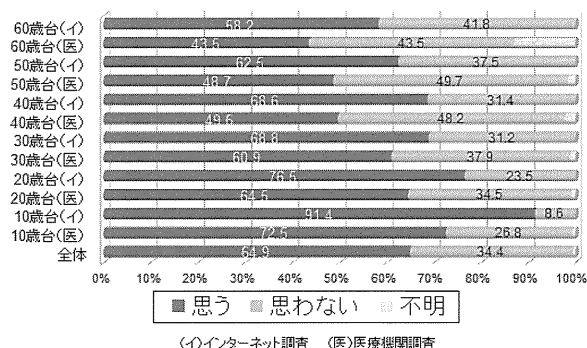
性感染症の検査: どこで受けてよいかわからない



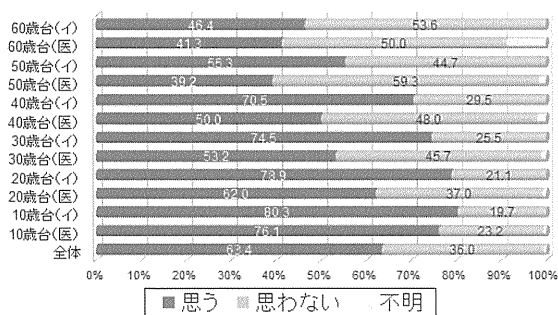
性感染症の検査: 面倒くさい



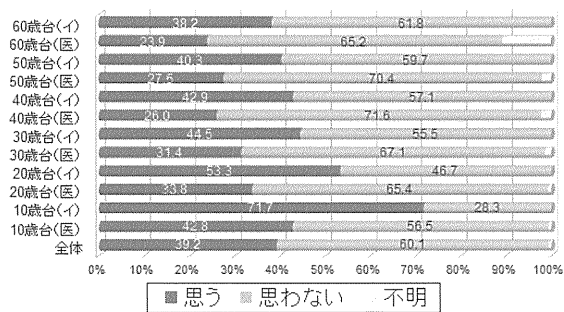
性感染症の検査: 検査機関や医療機関へ出向くことができない



性感染症の検査: どのような検査をされるか不安



性感染症の検査:検査費用が心配



性感染症の検査:今までに受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことがこわい

E. 結論

本研究班では、一般人口集団を代表するものとしてインターネット調査を、性感染症の検査や治療について情報を得やすい集団として医療機関調査を実施した。

これらの調査を通して、わが国一般人口集団における性意識・性行動の実態を把握できた意義は大きい。特に、異性間性交にとどまらず、同性間性交や口腔性交の年代別経験率、「金をはらって、金をもらって」の性交経験率などを明らかにできた。また、性交経験のある者の性感染症予防法としてはコンドームの使用が不可欠であるが、口腔性交が極めて一般化している割にはコンドームの使用がほとんど行われていないことは憂慮すべき事態である。「エイズ予防にはコンドームを」のメッセージと合わせて、「口腔性交にもコンドームを」の教育を徹底する必要がある。学校で性感染症予防を学んだ若者はコンドーム使用に対して熱心になれることなど、学校性教育が如何に重要であるかを知ることができた。

これらの興味深い結果を踏まえて、性感染症の早期発見・早期治療に結び付けるだけでなく、性感染症予防策として有効だと思われる取り組みを以下箇条書きにした。

1. 学校における性教育ならびに性感染症予防教育の充実を

学校教育において、性交の意味、初交に向けた準備、口腔性交の課題、コンドーム使用の意義、性感染症の特徴などを科学的・具体的に学ぶ機会を作る。これによって、初交を「重大なこと」と認識させ、性感染症予防としてのコンドームの使用を徹底させることができるようになる。性感染症の検査を受けようと思った一番のきっかけは「気になる症状がある」であった。しかし、多くの性感染症はHIVやクラミジア感染症などがそうであるように無症候であることが一般的である。性交経験があるならば定期的な検査を、パートナーがかわったときには検査を必須とする教育が求められている。これらは、学校に限らず社会教育の中でも取り上げて欲しい話題である。

2. 医療機関における性感染症予防教育の徹底を

性感染症の早期発見・早期治療はいずれにせよ検査が可能な医療機関での受診が不可欠である。一般人口集団では「どこに行って検査をしたらいいかわからない」と回答する者が少なくなかった。また「今まで受診したことがない診療科(婦人科・泌尿器科)に行くことがこわい」「どのような検査をされるのか不安」「異性の医師・スタッフに診られることに抵抗がある」など、医療機関が受診しやすい環境を整備することが重要であることを示唆する結果となっている。医療機関におけるホームページを充実させて、受診しやすい情報提供、スタッフ紹介、性感染症検査・治療の具体的な方法、検査や治療経費などわかりやすい情報の提供が求められている。また、電話をかけてきたときの対応方法、受診した際にスタッフのフレンドリーな対応などを心掛け、不安や心配を払拭できるような体制を整えておくことが重要である。さらに、性感染症罹患者のパートナーに対する検診・治療を積極的に促すよう心掛けていただきたい。

3. メディアからは科学的・具体的な情報提供を

無症候の性感染症が大半であること、性感染症の検査・治療は医療機関で行うこと、口腔性

交に際しての留意点、特にコンドームを使用することが性感染症の拡大を阻止するために重要であること、性感染症に罹患した場合には、当事者だけでなくパートナーの検診・治療が推奨されることなどを折に触れて情報提供していった欲しい。

F. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 平成 24 年度開催予定の日本思春期学会、日本母性衛生学会、日本性感染症学会、平成 25 年度日本産科婦人科学会などでの発表を予定している。

G. 知的所有権の取得状況

なし

日本人の性意識・性行動に関する調査

- この調査票に回答された内容については、統計として取りまとめるだけで、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に医学的見地からの質問となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
- どうしても、答えにくい質問があれば、その部分は無回答でも結構です。次の質問に進んでください。

— [ご記入に際してのお願い] —

- 1) この調査は、調査をお願いしたご本人様にご回答をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 3) お答えは原則的に1つの質問につき1つ選んでいただきます。ただし質問によっては、2つ以上の回答を選んでもいただく場合があります。質問文末に（○は2つまで）など、選んでいただく回答の数が示してありますので、これに従ってください。
- 4) ご記入は、質問の番号や矢印（→）の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、調査をお願いした受付担当者にお問い合わせください。

ご記入後、回収用封筒に密封して、受付までお渡しいたしますよう、お願い申し上げます。
お礼として、500円のQuo（クオ）カードをお渡しいたします。

平成23年11月

平成23年度厚生労働科学研究費補助金・新型インフルエンザ等新興・再興感染症事業
「性感感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究」
(主任研究者 小野寺 昭一 慈恵医科大学客員教授)

分担研究者 (社) 日本家族計画協会 家族計画研究センター所長 北村 邦夫

医療機関番号	
--------	--

まず、この調査を統計的に処理するために、あなたご自身のことについていくつかお聞きします。

F1 あなたの性別（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

F2 あなたの年齢は、満でおいくつですか。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

F3 この病院（クリニック等も含む）は、今回初めての受診ですか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

F4 現在、あなたは誰と一緒に住まいますか。この中から、あてはまる人をすべてあげてください。
(○はいくつでも)

1 一人暮らし（一緒に住んでいる人はいない）	7 兄弟姉妹
2 配偶者（妻、夫、パートナー）	8 親戚
3 親（配偶者の親も含む）	9 恋人
4 子（子の配偶者も含む）	10 ルームメイト・友達
5 祖父母（配偶者の祖父母も含む）	11 それ以外の人
6 孫	

F5 現在、あなたは結婚していらっしゃいますか。（○は1つだけ）

1 未婚	4 離婚
2 初婚	5 死別
3 再婚	

F6 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退・在学中は卒業としてお答えください。
(○は1つだけ)

1 中学校	3 専門学校	5 大学
2 高等学校	4 短期大学	6 大学院

F7 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。（○は1つ）

1 勤め人（常勤）	4 学生
2 勤め人（非常勤・パートタイム・アルバイトなど）	5 主婦（主夫）
3 自営業（事業の経営者・家業の手伝い・内職など）	6 無職

F8 あなたは、自分のことが好きですか。（○は1つ）

1 好き	2 まあ好き	3 あまり好きではない	4 好きではない
------	--------	-------------	----------

【F9～F10の質問は20歳以上の方にお聞きします。20歳未満の方は問1へお進みください。】

F9 あなたは現在、タバコを習慣的に吸っていますか。(○は1つ)

(習慣的に吸っている人とは、「今までに合計100本以上または6ヶ月以上吸っている人」のうち「最近1ヶ月も吸っている人」です。)

1 もともと吸わない(吸ったことがない)	} → F10へ
2 吸ったことはある(吸っている)が習慣的ではない	
3 過去に習慣的に吸っていた(現在は吸っていない)	
4 習慣的に吸っている	

【F9で「4 習慣的に吸っている」と答えた方にお聞きします。】

F9SQ 1日の平均本数と喫煙年数を教えてください。

1日の平均本数	<input type="text"/>	本	喫煙年数	<input type="text"/>	年
---------	----------------------	---	------	----------------------	---

F10 あなたは1週間の内、平均してどの程度お酒を飲みますか。(換算表を使ってお答えください)

(○は1つ)

1 飲まない	日本酒一合(180ml)換算表 ビール 中瓶1本 約500ml 焼酎 35度1杯 80ml ウィスキーダブル1杯 60ml ワイン 2杯 240ml 例:1週間に350mlのビールを3本(1050mlで2合)と焼酎2杯(160mlで2合)飲めば、合計4合になります。
2 1合未満	
3 1～2合未満	
4 2～3合未満	
5 3合以上	

(全員の方に) ここからは、あなたの性の意識やご自身の性行動についてお伺いします。

問1 現在、あなたはセックス(性交渉)をすることに、関心がありますか。(○は1つ)

1 とても関心がある	4 まったく関心がない
2 ある程度関心がある	5 嫌悪している
3 あまり関心がない	

※ここからはあなたご自身の性行動についてお聞きしますが、以降の質問文中の『セックス(性交渉)』には、「口腔性交(男性の性器あるいは女性の性器を口で刺激すること)」も含んでお答えください。

問2 あなたは、これまでに異性とセックス(性交渉)をしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない	→ 4ページの問7へお進みください
------	------	-------------------

【問3～問6は、問2で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問3 あなたは今までに、何人の異性とセックス(性交渉)をしましたか。(○は1つ)

1 1人	4 4人	7 20～49人
2 2人	5 5～9人	8 50～99人
3 3人	6 10～19人	9 100人以上